

# 生活習慣病センターだより

## ☆ CGM 検査で分かること ☆

2026年5月発行

CGM 検査（持続血糖測定：Continuous Glucose Monitoring）は、身体に装着した小さなセンサーで皮下間質液中の糖濃度を 24 時間連続測定し、血糖変動を「見える化」する糖尿病治療機器です。

当院では、以前まで使用していた“リブレ pro”の販売中止に伴い“Dexcom G7”への機器変更をいたしました。

また、タスクシフトより臨床検査技師でも CGM 検査を行うことができるようになり当院でも 2025 年より装着～解析まで行っております。G7 は指先穿刺不要で 24 時間血糖値を継続的に測定・把握し、食事・運動・治療の効果を「見える化」することで、より精密で安全な糖尿病管理を可能にします。

当院の検査部ではこれを利用し、10 日間の普段の生活において血糖の変動がどの様になっているのかを調べ、インスリンの導入や量の調節を目的に検査を行っています。

### SMBG と CGM の違い

**SMBG（自己血糖測定）**：測定した時点の血糖値が分かる。

1 日数回測定することで血糖値の上がり方下がり方を推測できる。毎回、指先を穿刺する必要があり痛みを伴うこともある。

測定した時点の血糖値がわかる



※画像はイメージです

連続した血糖値の変化がわかる



※画像はイメージです

**CGM**：連続した血糖値の変化が分かる。連続測定ができ、数日間にわたる血糖変動の傾向を把握することができる。夜間低血糖や食後高血糖を把握しやすくなる。

血糖値と間質液中の糖濃度には時間差があり、急激な変動時は数値に乖離が生じることがある。



センサー センサー装着器具 モニター

SMBG では毎回血糖値を測定するために指先を穿刺針で刺し少量の血液で測定する必要があるが、CGM (G7) ではセンサーを 1 度つけるだけで、最大 10 日間の血糖値を測定することが可能です。また、G7 は測定したデータは 24 時間分センサー内に蓄積されているため、最低 1 日 1 回はセンサーとモニターを 6 m 以内に近づけていれば自動で測定データはモニターに記録されていきます。1 度装着すると、10 日間は普段通りの生活を送ってもらうだけで、どのように血糖値が変動するのかグラフ化して可視化することができ、非常に患者さんにも負担の少ない検査です。